

2025年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2 年 観光科 トラベル・アウトドアコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。

当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025 年度昼間部 2 年 観光科トラベルコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	25	16	13	74
合 計		26	33	18	16	93

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15								
	キャリアデザインⅠ	講	2	30	キャリアデザインⅡ	講	5	75								
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講	1	15									ビジネスコミュニケーションⅡ	講	1	26
	パソコンⅠ	演	1	15	パソコンⅡ	演	1	15	パソコンⅢ	演	1	26	パソコンⅣ	演	1	26
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	26
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78
専門科目	国内観光資源Ⅰ	講	2	30	国内観光資源Ⅱ	講	2	30	国内観光資源Ⅲ	講	2	52	国内観光資源Ⅳ	講	1	26
	海外観光資源Ⅰ	講	2	30	海外観光資源Ⅱ	講	2	30	海外観光資源Ⅲ	講	2	52	海外観光資源Ⅳ	講	1	26
	時刻表実務Ⅰ	講	1	15	時刻表実務Ⅱ	講	1	15								
	国内管理者対策講座Ⅰ(国内旅行実務)	講	2	30	国内管理者対策講座Ⅱ(国内旅行実務)	講	2	30	国内管理者対策講座Ⅲ(国内旅行実務)	講	2	52	観光素材研究	講	1	26
	国内管理者対策講座Ⅱ(乗法・約数)	講	1	15	国内管理者対策講座Ⅲ(乗法・約数)	講	1	15	国内管理者対策講座Ⅳ(乗法・約数)	講	1	26	観光実務Ⅳ	演	1	26
	観光実務Ⅰ	演	2	30	観光実務Ⅱ	演	4	60	観光実務Ⅲ	演	1	26	観光実務Ⅳ	演	1	26
	添乗実務Ⅰ	演	2	30	添乗実務Ⅱ	演	2	30	韓国語/中国語Ⅰ	講	1	26	韓国語/中国語Ⅱ	講	1	26
	観光プランニングⅠ	演	1	15	観光プランニングⅡ	演	2	30	社会人教養Ⅰ	講	1	26	社会人教養Ⅱ	講	1	26
	観光業基礎(業界ガイド)	講	2	30	アウトドア実務Ⅰ	演	3	45	アウトドア実務Ⅱ	演	1	26	アウトドア実務Ⅲ	演	1	26
	SNSプロモーションⅠ	演	2	30	SNSプロモーションⅡ	演	2	30	Web・動画作成Ⅰ	演	1	26	Web・動画作成Ⅱ	演	1	26
	アマデウスⅠ	演	2	30	アマデウスⅡ	演	2	30	手話講座Ⅰ	演	1	26	手話講座Ⅱ	演	1	26
	セールス演習	演	1	15	Travel/Guide EnglishⅠ	演	1	15	エクササイズⅠ	演	2	52	Travel/Guide EnglishⅡ	演	1	26
					世界遺産	講	1	15	卒業制作Ⅰ	演	1	26	卒業制作Ⅱ	演	1	26
	小計		20	300	小計		25	375	小計		16	416	小計		13	338
計	1年前期 合計		26	390	1年後期 合計		33	495	2年前期 合計		18	468	2年後期 合計		16	416
	1年 合計						59	885	2年 合計						34	884
	2年間 総合計															93 1,769
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	オリエンテーション(校内) スポーツ大会				就職ガイダンス 中村学園祭				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭 観光地研修			

共通科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキル			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：宮崎 愛子・愛澤 純子・野田 てるみ				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的な PC 操作を理解するとともに、Word Excel の基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USB メモリ				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 26 時間 後期 : 26 時間
担当	講師名 : Native teacher				
	実務経験 : 有・ ☐ 無	実務経験内容 :			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Asking about & giving prices		6 Talking about past events		
	7 Bargaining for a lower price		7 Asking about past events		
	8 Talking about frequency		8 Introducing news & reacting to news		
	9 Describing features		9 Talking about future plans		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース 2 年生			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：26 時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本 2・3 級 新星出版社（1 年次購入済み）				
授業計画	1 年金・税・保険の知識				
	2 組織（役職）と部門について				
	3 慶弔に関する知識とマナー				
	4 領収書の記入方法				
	5 その他ビジネス用語				
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換				
	7 上座・下座				
	8 企業訪問 実践ロールプレイ				
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方				
	10 電話応対 実践ロールプレイ				
	11 上手な聞き方、話し方				
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

トラベルコース

専門科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルアウトコース ／ 鉄道科 鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：1 単位	時間数	前期：52 時間 後期：26 時間
担当	講師名： 松川 信也				
	実務経験： 有・無	実務経験内容：元旅行添乗員。旅行コンサルティング 会社経営。総合旅行業務取扱管理者			
授業概要	1 年次に学習した日本全国の観光資源に関する知識を更に深め、国内旅行の実務を行う上での必要知識を高めながら、「観光を楽しむ」手段としての地理も学ぶ。				
到達目標	1.国内旅行の実務上必要となる主要な観光資源の内容を説明できる。 2.インバウンドビジネスについての理解を深める。 3.「観光を楽しむ」手段としての「駅弁」「日本神話」「パワースポット」を説明できる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称： 国内旅行業務取扱管理者 世界遺産検定				
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研)－1 年次に使用したもの 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)－1 年次に使用したもの				
授業計画	1 2025 国内旅行の主要動向	1 日本の主要「駅弁」(1)－駅弁の歴史			
	2 日本の温泉地(1)－九州	2 日本の主要「駅弁」(2)－東日本			
	3 日本の温泉地(2)－中国・四国	3 日本の主要「駅弁」(3)－西日本			
	4 日本の温泉地(3)－近畿	4 日本の主要「駅弁」(4)－まとめ			
	5 日本の温泉地(4)－中部地方	5 日本神話の舞台(1)－「国生み」			
	6 日本の温泉地(5)－関東	6 日本神話の舞台(2)－「天岩戸」			
	7 日本の温泉地(6)－東北	7 日本神話の舞台(3)－「八咫のオロチ」			
	8 日本の温泉地(7)－北海道	8 日本神話の舞台(4)－「因幡の白ウサギ」			
	9 インバウンドビジネスの動向(1)	9 日本神話の舞台(5)－「天孫降臨」			
	10 インバウンドビジネスの動向(2)	10 日本のパワースポット(1)「武運」			
	11 インバウンドビジネスの動向(3)	11 日本のパワースポット(2)「金運」			
	12 観光資源個別テーマ(1) 神社仏閣	12 日本のパワースポット(3)「縁結び」			
	13 観光資源個別テーマ(2) 食文化	13 日本のパワースポット(4) まとめ			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	海外観光資源Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2 年　前期・後期	単位数	前期　： 2 単位 後期　： 1 単位	時間数	前期　： 52 時間 後期　： 26 時間
担当	講師名：石松先生				
	実務経験　： ☒ ・ 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	日本からの渡航者が多い世界の国と地域の観光資源および、それに関わる地勢、国情勢、宗教、歴史などについて、基礎を学ぶ。履修内容、順番は、変更される場合がある。 なお、総合旅行業務取扱管理者受験、および世界地理検定の受検には、別途学習が必要である。				
到達目標	渡航先の観光資源が、なぜ資源となりうるのかを理解できる。 渡航先の魅力について理解および考察ができる。				
検定資格	☐ なし	・ 必修	・ 任意	名称：	
教科書 教材	海外観光資源（JTB 総研）　旅に出たくなる地図　世界（帝国書院）　※ともに 1 年次に購入済 適宜プリント使用、適宜旅行会社のパンフレット使用				
授業計画	1　インドネシア、フィリピン		1　カナダ、アメリカ合衆国		
	2　インド、ネパール、南アジアの世界遺産		2　アメリカ合衆国、メキシコ、南米の世界遺産		
	3　イスラエル、トルコ、中東の文化風習		3　その他アメリカ大陸に関する補足		
	4　英国、フランス、ベネルクス三国		4　ハワイ		
	5　スペイン、ポルトガル、大航海時代について		5　オーストラリア		
	6　ドイツ、スイス		6　ニュージーランド		
	7　オーストリア、中欧諸国 1		7　その他オセアニア諸国		
	8　中欧諸国 2		8　エジプト		
	9　イタリア		9　モロッコ、イスラム圏の文化風習		
	10　バルカン半島の国々、その他補足		10　ケニア、タンザニア、南アフリカ共和国		
	11　ロシア、北欧諸国		11　その他アフリカの世界遺産と文化		
	12　前期まとめ		12　後期まとめ		
	13　定期試験返却と解説、宗教画		13　定期試験返却と解説		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、および出席率 80%以上、および平常点　優。 B：評価試験 60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C：評価試験 40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D：評価試験 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内管理者対策講座Ⅴ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：2 単位	時間数	前期：52 時間
担当	講師名：舟寶 加代子				
	実務経験：有	実務経験内容：旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	JR 貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。授業内では国内旅行実務に沿った JR 運賃料金の計算などの基礎内容を学習しつつ、過去の問題やプリントで確認していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「国内運賃・料金」(JTB 総研) 過去問題プリント				
授業計画	1 JR 運賃の基本原則		1 確認テスト		
	2 幹線と地方交通線について		2 確認テスト		
	3 運賃の異なる会社間について		3 通過連絡運輸、連続運賃について		
	4 JR 運賃計算の特例・各種割引運賃		4 特定区間、特定都市発着の運賃について		
	5 往復割引、学生割引について		5 団体割引運賃について		
	6 JR 料金の基本的な考え方について		6 新幹線の特急料金について		
	7 特急料金の変動について		7 山形・秋田新幹線の料金について		
	8 有効期間、払い戻し手数料について		8 確認テスト		
	9 貸し切りバス運賃料金について		9 確認テスト		
	10 フェリー運賃料金について		10 確認テスト		
	11 宿泊料金について		11 確認テスト		
	12 過去問題練習		12 過去問題練習		
	13 期末試験		13 期末試験		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内管理者対策講座VI			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース/鉄道科 鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	1 年次から引き続き旅行業法と約款の知識を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「旅行業法」「旅行業約款」（J T B総研） ※1 年次に購入済み 過去問題プリント				
授業計画	1 業法①（登録・営業保証金・旅行業務取扱管理者）				
	2 業法②（料金の掲示・取引条件の説明・書面の交付）				
	3 業法③（外務員・広告・標識）				
	4 業法④（旅程管理・禁止行為）				
	5 業法⑤（受託契約・旅行者代理業者・廃止・業務改善命令）				
	6 業法⑥（旅行業協会・まとめ）				
	7 約款①（募集型：総則・契約の締結・契約の変更）				
	8 約款②（募集型：契約の解除・団体・グループ契約・旅程管理）				
	9 約款③（募集型：責任・旅程保証、受注型での変更点）				
	10 約款④（特別補償規程）				
	11 約款⑤（手配旅行・旅行相談契約）				
	12 約款⑥（まとめ）				
	13 期末テスト返却 及び 回答・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光実務Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験：有	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	1 年次から引き続き観光実務に関する様々な課題を解決すべく実習を踏まえて学習していきます。観光イベントの計画立案から実施に至るまでのプロセスを学び、それぞれの企業に就職した後でも自身でイベントや催し物を出来るように覚えて行きましょう。				
到達目標	現在の観光業界を知り、業界における知識・実務を習得・表現することが出来る				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし (適宜、資料としてプリントを使用します)				
授業計画	1 観光業界研究①（業界の現状を知る）		1 観光イベントの作成①（地域・場所の選定）		
	2 観光業界研究②（業界の課題を知る）		2 観光イベントの作成②（地域・場所の選定）		
	3 観光業界研究③（業界の手段を知る）		3 観光イベントの作成③（イベント内容の検討）		
	4 観光業界研究④（業界の目的を知る）		4 観光イベントの作成④（イベント内容の検討）		
	5 業界実務①（観光イベントの魅力を考える）		5 観光イベントの作成⑤（イベント内容の検討）		
	6 業界実務②（ターゲットの選定・確認）		6 観光イベントの作成⑥（実務内容の検討）		
	7 業界実務③（ターゲット研究）		7 観光イベントの作成⑦（予算及びプレゼン検討）		
	8 業界実務④（企画の提案内容を検討）		8 観光イベントの作成⑧（予算及びプレゼン検討）		
	9 業界実務⑤（企画の提案内容を検討）		9 観光イベントの作成⑨（プレゼン実施）		
	10 業界実務⑥（企画の提案内容を検討）		10 観光イベントの作成⑩（企画検討）		
	11 業界実務⑦（企画の発表準備）		11 観光イベントの作成⑪（企画検討）		
	12 業界実務⑧（企画の発表）		12 観光イベントの作成⑫（企画検討）		
	13 業界実務⑨（企画発表の振り返り）		13 観光イベントの作成⑬（企画実施）		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験及び実技披露での習得率 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験及び実技披露での習得率 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験及び実技披露での習得率 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験及び実技披露での習得率 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

2025 年度シラバス（授業計画）

科目名	韓国語 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 ・ テーマパーク科 ・ 観光科			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間 後期 ： 26 時間
担当	講師名： 渡部 茂				
	実務経験： 有 ・ (無)	実務経験内容：			
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。				
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称： ハングル検定 ・ 韓国語能力検定				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説」 渡部 茂 著				
	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで		1.基本的な会話（初対面の挨拶等）		
	2.文字と発音のルール（連音化・有声音化等）		2.日常会話（I T H Bで何を学んでいますか等）		
	3. 音の変化（流音化・鼻音化・口蓋音化等）		3.旅行・観光（機内・列車内・バス内での案内等）		
	4. 数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞（1 と一）		4.飲食時の会話（客と従業員の間の会話等）		
	5. 指示代名詞と疑問詞		5.ホテル内での会話（予約と応対等）		
	6. 助詞（一音節・二音節・三音節・四音節等）		6.交通と乗り物（I T H Bまで行って下さい等）		
	7. 用言の活用（です・ます）		7.テーマパーク（入場客のご案内や引率等）		
	8.文中の連体形と連用形		8.ショッピング会話（日常や旅先の注文と応対等）		
	9.待遇表現(丁寧語・謙譲語・尊敬語等)		9.感情表現（日韓形容詞の相違の比較対照）		
	10.依存名詞の役割（こと・もの・はず・わけ等）		10.看病・介護・病気等の表現		
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比		11.人生の一生の出来事表現		
	12.擬態語・擬声語（オノマトペ） 接頭辞・接尾辞		12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現		
	13.朝鮮半島文化的背景（親族の呼称・歴史年表）		13.芸能・音楽（前売り券・ファンミーティング等）		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 優 B： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 良 C： 評価試験 60%以上、 出席率 60%以上、 平常点 可 D： 評価試験 60%未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ ☐	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します，後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に近い中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ，来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 90%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人教養Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 ・ 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：石神 直人、立石 智之				
	実務経験：有・ 無	実務経験内容：			
授業概要	グローバル化や日本社会の変化に伴う人々の意識や価値観の変化も関係している中で、本講座では、時事問題解説ではなく、様々な分野をについて教養を深める講座を目指します。内容は経済、地域社会などと多岐にわたりますが、いずれも今後の社会人生活や世界を視野に入れるうえで重要な視点となります。				
到達目標	卒業後の社会人生活における問題点などがあった場合、自主的に解決もしくは相談できるような知識を持ち、より良いキャリアデザインを描けるようになってほしい。				
検定資格	なし ・必修・任意 名称：				
教科書教材	なし（適宜、プリントを用意します）				
授業計画	1 学生から社会人へのマインドリセット①		1 社会人コミュニケーション④		
	2 学生から社会人へのマインドリセット②		2 社会人コミュニケーション⑤		
	3 ビジネスマナーの習得（接客・対客）①		3 社会人基礎（新入社員について）①		
	4 ビジネスマナーの習得（接客・対客）②		4 社会人基礎（トラブル対応）②		
	5 ビジネスマナーの習得（電話応対）①		5 社会人基礎（ビジネスマナー）③		
	6 ビジネスマナーの習得（電話応対）②		6 社会人基礎（コンプライアンス）④		
	7 ビジネスマナーの習得（電話応対）③		7 基礎教養（経済と金融）①		
	8 ビジネスマナーの習得（社内応対）①		8 基礎教養（経済と金融）②		
	9 ビジネスマナーの習得（社内応対）②		9 基礎教養（経済と金融）③		
	10 社会人コミュニケーション①		10 基礎教養（経済と金融）④		
	11 社会人コミュニケーション②		11 総合学習①（宴席でのマナー）		
	12 社会人コミュニケーション③		12 総合学習②（新人としての在り方）		
	13 テスト返却		13 テスト返却、まとめ		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験及び授業理解度 80％以上、出席率 90％以上、平常点 優 B：評価試験及び授業理解度 60％以上、出席率 80％以上、平常点 良 C：評価試験及び授業理解度 40％以上、出席率 60％以上、平常点 可 D：評価試験及び授業理解度 40％未満、出席率 60％未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	アウトドア実務Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 ・ 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：豊島大輝				
	実務経験： 有 ・無	実務経験内容：グランピングおよびアウトドア企業での実務経験			
授業概要	様々なキャンプギアに触れて、実際にアウトドアスキルを身に付ける。サービス提供時に必要になるアウトドアの専門知識を身に付けると共に、安全管理など現場のリスクを正しく理解してアウトドアプログラムを実施できる内容にする。				
到達目標	・自身でアウトドアの事業計画を立案しアクティビティを伴い実施することを目標とする。 ・現場で必要な安全管理について学び、実践的なスキルを身に付ける。 ・SNS 等による、自力広報などマーケティングの基礎を身に付ける。				
検定資格	なし ・必修・任意 名称：				
教科書教材	楽しむ！極める！キャンプ完全ガイド（西東社）（1 年次購入済み）				
授業計画	1 アウトドアギアの基本 1		1 アウトドアプログラムの計画 1		
	2 アウトドアギアの基本 2		2 アウトドアプログラムの計画 2		
	3 アウトドアギアの基本 3		3 アウトドアプログラムの計画 3		
	4 ダッチオープンの基本		4 ロープワークの基本 1		
	5 ダッチオープンの管理		5 ロープワークの基本 2		
	6 ダッチオープンの応用		6 ロープワークの基本 3		
	7 焚き火の基本		7 アウトドアスキル応用編 1（火起こし）		
	8 焚き火の器具を学ぶ		8 アウトドアスキル応用編 2（サバイバル）		
	9 様々な焚き方の実技		9 アウトドアスキル応用編 3（野草料理）		
	10 焚き火料理の実技		10 アウトドアプログラムのマーケティング		
	11 テントの基本		11 アウトドアプログラムの実施 1		
	12 テントの張り方 1		12 アウトドアプログラムの実施 2		
	13 テントの張り方 2		13 アウトドアプログラムの実施 3		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験及び理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験及び理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験及び理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験及び理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Web・動画制作Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：間野 圭子				
	実務経験：有・無	地域活性化団体に所属しながら、企業や自治体との業務を実施。			
授業概要	Web ページや動画コンテンツについて実際の作成を通じて技術を学ぶ。また専門的知識がなくてもプロモーション用のページ作成のマネジメントなどができるように構成や目的などを実践的に学ぶ。				
到達目標	専門的な知識などがなくても、Web ページの基本的な運用ができるようになる。動画を自ら撮影し編集し、動画コンテンツを生み出すことができる。動画コンテンツの強みを活かし、様々なシーンでの動画の役割を理解し活用できる。Web ページと動画コンテンツを組み合わせ、独自のページ運用や、総合的にプロモーションできるようになる。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 Web サイトとは		1 企業連携動画制作①		
	2 Web サイトの役割		2 企業連携動画制作②		
	3 Web サイトデザイン		3 企業連携動画制作③		
	4 簡単な Web サイトの作成方法		4 企業連携動画制作④		
	5 動画コンテンツの種類		5 動画で魅力を伝える		
	6 CM を制作してみよう①		6 動画のメリットデメリット		
	7 CM を制作してみよう②		7 オリジナル動画企画①		
	8 オリジナル動画を制作してみよう①		8 オリジナル動画企画②		
	9 オリジナル動画を制作してみよう②		9 オリジナル動画企画③		
	10 総合的プロモーション①		10 オリジナル動画企画④		
	11 総合的プロモーション②		11 オリジナル動画企画⑤		
	12 まとめ①		12 オリジナル動画企画⑥		
	13 まとめ②		13 まとめ		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験及び理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験及び理解度 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験及び理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験及び理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：飯塚佳代				
	実務経験：有・無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定 6 級 5 級 4 級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。				
到達目標	1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：手話技能検定 4 級または 5 級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト 5・6・7 級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト 3・4 級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6 級単語：あいさつ・自己紹介・反応・		1 聴覚障害者と法律① 4 級単語：人間・食べ物・動物・指文字総合復習		
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6 級単語：天候・疑問・数字・時制・指文字①		2 聴覚障害者と法律② 4 級単語：生活・スポーツ・趣味・指文字総合復習		
	3 手話とは③ 6 級単語：人・家族・指文字②		3 ろう文化とは 4 級単語：感情・乗り物・指文字総合復習		
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6 級単語：色・方角・指文字③		4 デフリンピック① 4 級単語：形容詞副詞①・指文字総合復習		
	5 接客手話とは 6 級単語：感情・動作・指文字④		5 デフリンピック② 4 級単語：形容詞副詞②・指文字総合復習		
	6 世界の手話 手話検定 6 級模試（指文字なし）		6 耳の構造と補聴器 4 級単語：社会施設①・指文字総合復習		
	7 コミュニケーション方法① 5 級単語：疑問と時間・自然・指文字⑤		7 聴力レベルと障害者手帳 4 級単語：社会施設②・都道府県①・指文字総合復習		
	8 コミュニケーション方法② 5 級単語：自然・家族・趣味・程度・指文字⑥		8 マークいろいろ① 4 級単語：都道府県②・指文字総合復習		
	9 コミュニケーション方法③ 5 級単語：基本動詞・指文字⑦		9 マークいろいろ② 4 級単語：都道府県③		
	10 コミュニケーション方法④ 5 級単語：形容詞・指文字⑧		10 聴覚障害者トピック 4 級単語：動詞		
	11 コミュニケーション方法⑤ 5 級単語：指文字⑨・6 級指文字		11 ゲストを迎える準備・質問練習		
	12 手話検定 5 級模試と答え合わせ		12 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる		
	13 試験返却&振り返り		13 試験返却&振り返り		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 ・ 後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：52 時間 後期：52 時間
担当	講師名：北原 大輔				
	実務経験： 有 ・無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）				
検定資格	なし ・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意				
授業計画	1 自己紹介、授業説明		1 体力測定		
	2 体力測定		2 コーディネーショントレーニング		
	3 体力測定 2		3 バランストレーニング		
	4 コーディネーショントレーニング		4 筋トレ（上半身）		
	5 バランストレーニング		5 筋トレ（下半身）		
	6 心拍数、運動強度講習		6 腹筋		
	7 ウォーキング		7 ウォーキング		
	8 ランニング		8 ランニング		
	9 筋トレ（上半身）		9 筋トレ（上半身）音に合わせて		
	10 筋トレ（下半身）		10 筋トレ（下半身）音に合わせて		
	11 ボクササイズ		11 キックボクササイズ		
	12 球技		12 球技		
	13 測定テスト		13 測定テスト		
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価 基準	A：授業内期末試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上 優 B：授業内期末試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上 良 C：授業内期末試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上 可 D：授業内期末試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	卒業制作Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 ・ 後期	単位数：2 単位	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間 後期 ： 26 時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	卒業までの1年間で、今まで学んできた多くのことを生かしながら自分の考えた内容を発表するために調査・研究を行い、レポートにまとめます。内容は各自で考えて行うため、自身の興味のあることや関心をもって主体的に行う授業となります。				
到達目標	社会人として卒業する前の心構え、対応を行い、自身の主張を論理だてて説明することが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 卒業制作概要説明、テーマ決めの調査		1 課題発表及びチーム決め、テーマ決めの調査		
	2 テーマ決めの調査・決定		2 テーマ決めの調査・決定		
	3 調査開始①		3 調査開始①		
	4 調査開始②		4 調査開始②		
	5 調査開始③		5 調査開始③		
	6 題材確認及び中間発表準備		6 題材確認及び発表準備		
	7 中間発表①		7 成果発表①		
	8 中間発表②		8 成果発表②		
	9 追加調査及び追加研究①		9 追加調査及び追加研究①		
	10 追加調査及び追加研究②		10 追加調査及び追加研究②		
	11 追加調査及び追加研究③		11 追加調査及び追加研究③		
	12 最終発表①		12 最終発表①		
	13 最終発表②		13 最終発表②		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価課題及び授業理解度80％以上、出席率90％以上、平常点 優 B：評価課題及び授業理解度60％以上、出席率80％以上、平常点 良 C：評価課題及び授業理解度40％以上、出席率60％以上、平常点 可 D：評価課題及び授業理解度40％未満、出席率60％未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光素材研究			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	観光業界で働くうえで地理の知識は重要ですが、それ以上に観光地に関してのその他の知識が重要となります。例えば温泉地と一緒に有名な旅館名を知っていると良かったり名物料理や有名なお土産など様々な「観光素材」における知識が必要となります。この授業ではそのような観光素材を勉強し、				
到達目標	国内・海外の代表的な観光素材を把握し、総合的な観光知識を更にアップデートさせる。				
検定資格	なし 名称：				
教科書 教材	なし (適宜、プリントを利用します)				
授業計画	1 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（北海道）				
	2 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（東北）				
	3 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（北陸）				
	4 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（関東）				
	5 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（中部・関西）				
	6 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（中国・四国）				
	7 方面別の特徴、観光地、県民性、郷土料理、名物など（九州・沖縄）				
	8 海外旅行での観光地、名物お土産①				
	9 海外旅行での観光地、名物お土産②				
	10 食事について（全国ご当地ラーメンの歴史について）				
	11 お土産について（全国の銘菓・名産品で知られていないものを発掘）				
	12 期末試験前振り返り				
	13 テスト返却及び解答・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Travel Guide English II			科目区分	専門科目
対象	観光科2年生トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間
担当	講師名：Robert Endo-McCabe				
	実務経験 ： 有 ・ ☐			実務経験内容：	
授業概要	Students will practice learned English vocabulary and skills via role playing and speaking with native teachers.				
到達目標	Improving English skills with regard to traveling and become confident in speaking English with native speakers.				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Travel Guide English (original text)				
授業計画	1 At the hotel, room problems and requests				
	2 At a barbecue, seating the guests				
	3 Explaining the barbecue				
	4 Introducing the drinks menu				
	5 Group dining				
	6 Dietary needs and allergies				
	7 Defining the bill				
	8 Confirming tours and pricing				
	9 Leaving the hotel				
	10 Settling the bill				
	11 Taking booking for camp				
	12 Discussing camp amenities				
	13 Explaining camp facilities				
成績評価 方法					
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				